今週（4月14日から4月18日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、試し取りにより付利金利を上回る水準での出会いも一部で見られたが、実勢としては引き続き動意に乏しく落ち着いたマーケットとなった。加重平均レートは、14日(月)~17日(木)までは0.476~0.477%の横ばい圏での推移となり、3日積みとなった18日(金)も概ね同様の展開となった。

ターム物に関しては、期間の短い物を中心に1W~1M程度で0.478~0.538%での出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、14日(月)に財政資金のまとまった支払いが見られた事で、527兆円台前半まで増加して始まり、翌15日(火)には、年金定時払いを主因に536兆円台まで大幅に増加した。その後は16日(水)に20年債の発行を受けてやや減少したものの、17日(木)以降は再び増加傾向となった結果、537兆円程度での着地見込みとなった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、0.485~0.505%のレンジでの取引となった。週を通して投資家・業者ともにオファーが厚く、レートは狭いレンジでの推移となった。

SCはカレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、入札を通じて1Yゾーンが水準調整された。

17日(木)に実施された1Y物入札は、テールが流れる結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも小甘く推移した。18日(金)に実施された3M物入札は、大きく流れる結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは閑散とした地合いとなった。

●CP市場

今週のCP市場は、鉄鋼、電気・ガス、サービス業などで大型発行が見られた。

市場残高については、3月末に19兆円台まで減少したものの、17日(木)時点では、22兆円台後半まで回復する展開となった。

発行レートについては、政策金利の引き上げ以降、0.5%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられる中、発行体からは期間の短い調達を先行する動きが散見された。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
4/14 (月)	33,982.36	1.335	143.20	0.477	0.492	5,273,700
4/15 (火)	34,267.54	1.365	143.58	0.476	0.488	5,361,800
4/16 (水)	33,920.40	1.289	142.50	0.477	0.484	5,348,500
4/17 (木)	34,377.60	1.305	142.46	0.476	0.485	5,368,400
4/18 (金)	34,730.28	1.285	142.40	0.477	0.495	5,380,700

来週（4月21日から4月25日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
4/21 (月)			EURO、LONDON祝日(Easter Monday)
4/22 (火)		流動性供給 4/23発行 4,500億円	
4/23 (水)	2月のサービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)		3月の米新築一戸建て販売件数 米ページブック
4/24 (木)	3月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	2Y 5/1発行 26,000億円 交付税借入 5/7借入 11,000億円	3月の米耐久財新規受注 3月の米中古住宅販売件数
4/25 (金)	4月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 4/28発行 45,000億円	

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
4/21 (月) 日銀予想	▲ 700	2,800	2,100	国債買入	1,600		1,600	3,700	TB3M発行▲45,000 償還45,000 TB1Y発行 ▲32,000 償還32,000 エネルギー 対策借入▲8,100 期日8,100
4/22 (火) 弊社予想	▲ 1,000	2,000	1,000				0	1,000	
4/23 (水) 弊社予想	▲ 1,500	▲ 4,500	▲ 6,000				0	▲ 6,000	流動性供給▲4,500 交付税借入▲11,000 期日13,000
4/24 (木) 弊社予想	▲ 2,000	2,000	0				0	0	
4/25 (金) 弊社予想	▲ 1,000	▲ 15,000	▲ 16,000				0	▲ 16,000	
週間合計	▲ 6,200	▲ 12,700	▲ 18,900	—	1,600	0	1,600	▲ 17,300	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き邦銀業態を中心に堅調な調達ニーズが見込まれるため、レート水準は0.477%近辺での推移が予想される。また、ターム物に関しては、一部でGW需要が見込まれる事からレート水準の動向が注目される。債券レポGC T/N物は、0.47~0.505%程度での推移が予想される。短国市場は、25日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、大きなイベントは無く、利上げ観測の動向や市場残高がどこまで積み上がるかが注目される。

主要なイベントは、国内では24日(木)に3月の企業向けサービス価格指数、25日(金)に4月の都区部消費者物価指数、海外では23日(水)に3月の米新築一戸建て販売件数、米ページブック、24日(木)に3月の米耐久財新規受注、3月の米中古住宅販売件数などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入